

横浜市中心卸売市場の現状について

平成24年6月15日

横浜市中心卸売市場

目 次

1	横浜市中央卸売市場の概要	1
2	横浜市中央卸売市場の取扱高	
	(1) 部別取扱高	3
	(2) 市場別・種別取扱高	
	青果部	5
	水産物部	7
	鳥卵部	9
	花き部	10
	食肉部	11
	(3) 全国主要都市との比較	12
3	横浜市中央卸売市場の位置・平面図	
	3市場の位置	13
	3市場の平面図	14

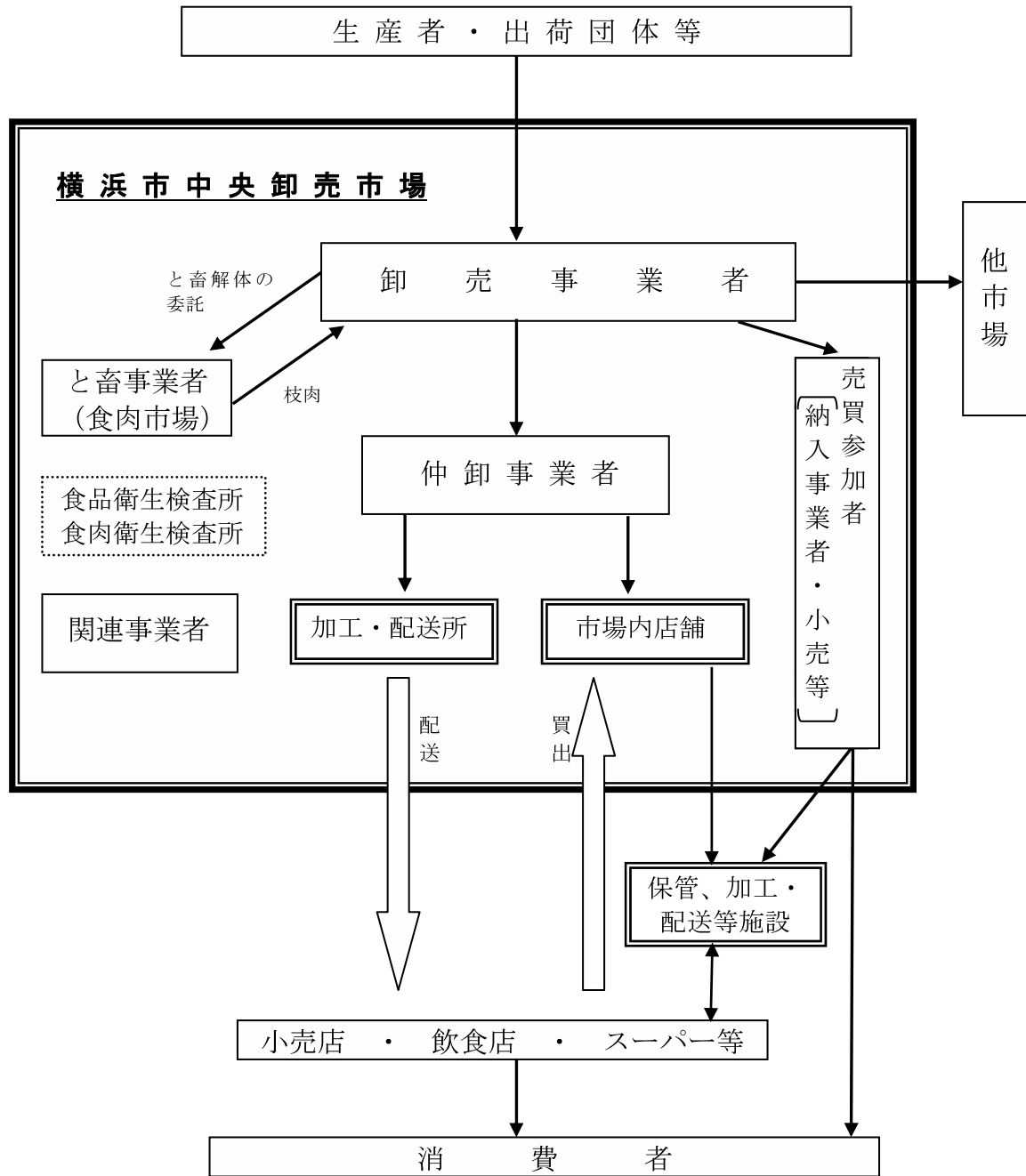
1 横浜市中央卸売市場の概要

(1) 施設概要

(平成24年6月1日現在)

市場名	本場	南部市場	食肉市場
開設年月日	昭和6年2月11日	昭和48年11月8日	昭和34年11月5日
所在地	神奈川区山内町1番地	金沢区鳥浜町1番地1	鶴見区大黒町3番53号
取扱品目	青果 水産物 鳥卵	青果 水産物 花き	食肉
敷地面積	106,211㎡	168,227㎡	42,600㎡
建物 (建設時期)	延べ床面積 131,789㎡ 青果棟：昭和60～平成4年 水産棟：昭和55～61年 【主な施設】 青果棟 47,342㎡ 水産棟 50,282㎡ 関連棟 6,992㎡ 第1冷蔵庫棟 5,780㎡ 第2冷蔵庫棟 3,602㎡	延べ床面積 104,783㎡ 青果・水産・花き棟： 昭和46～48年 横浜フレッシュセンター： 平成17～19年 【主な施設】 青果棟 19,358㎡ 水産棟 14,615㎡ 花き棟 2,453㎡ 関連商品売場棟 8,925㎡ 冷蔵庫棟 10,304㎡ 横浜フレッシュセンター 17,559㎡	延べ床面積 22,778㎡ 本館棟：昭和63～平成元年 仲卸棟：平成6～7年 【主な施設】 冷蔵室 3,548㎡ 解体室 1,498㎡ 内臓処理室 582㎡ けい留所 2,080㎡
市場関係事業者数	卸売業者	青果部 2 水産物部 2 鳥卵部 1	食肉部 1
	仲卸業者	青果部 26 水産物部 71	食肉部 5
	売買参加者	青果部 593 水産物部 18 鳥卵部 560	食肉部 177
	関連事業者	44	2

(2) 流通形態



◎ 卸売事業者

各地の生産者・出荷団体等から集荷した生鮮食料品等を仲卸業者や売買参加者に販売します。

◎ 仲卸事業者

卸売業者から買い受けた品物を仕分け、市場内の店舗で小売店等に販売するとともに、スーパーなどに向けて、カットやパック詰めなどの加工ならびに配送を行います。

◎ 売買参加者

卸売業者から、直接買い受けることのできる納入専門業者、小売業者等です。

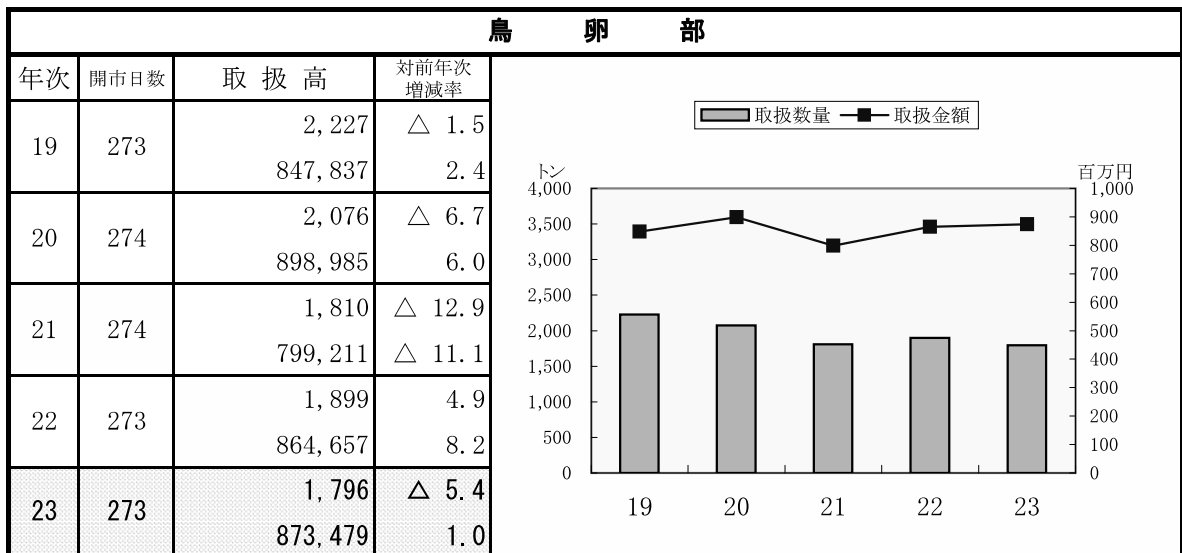
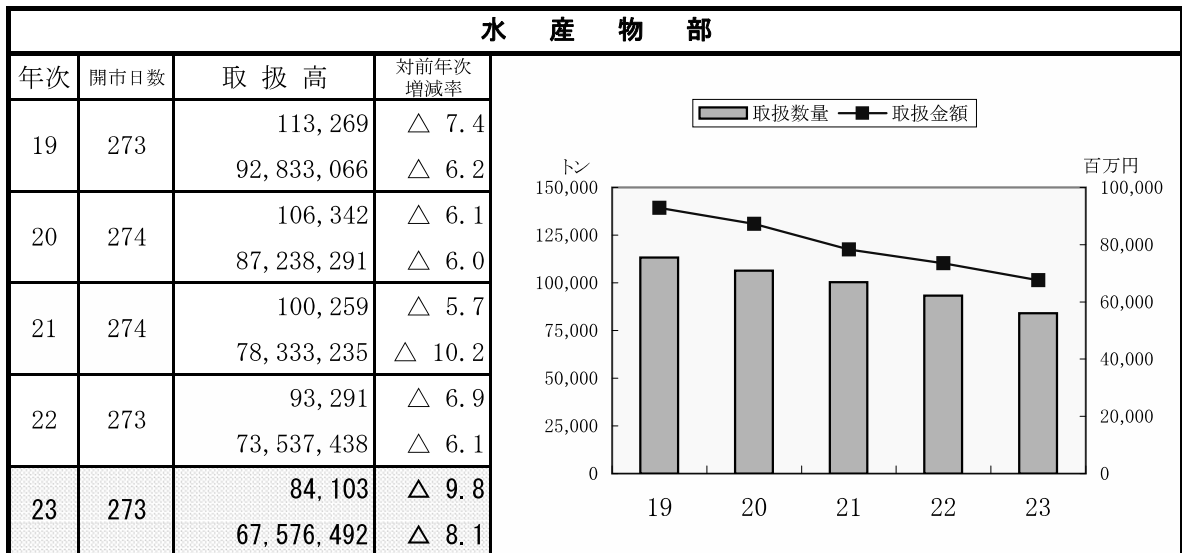
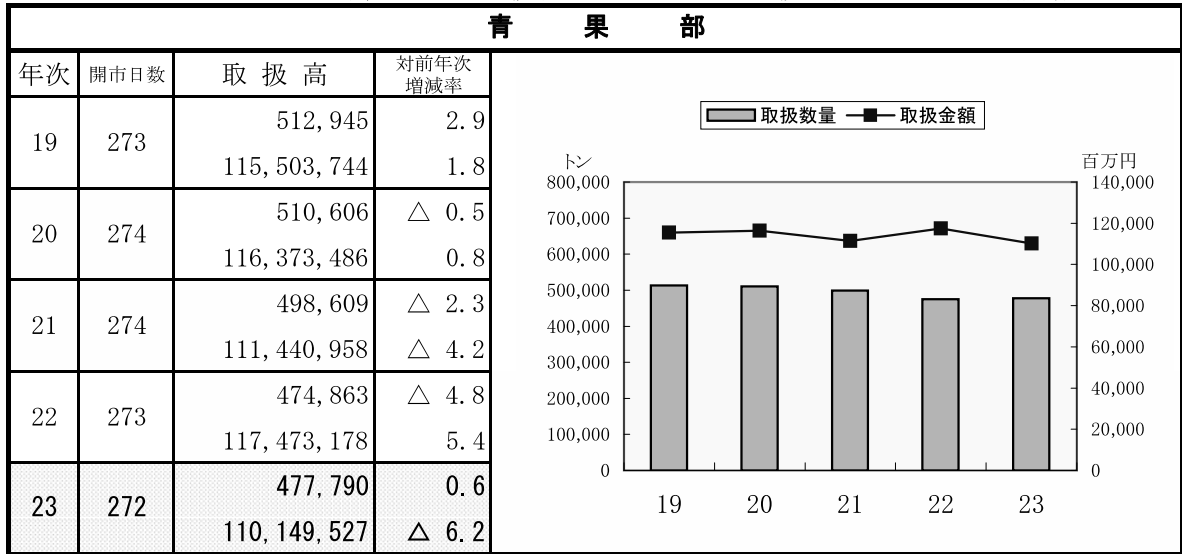
◎ 関連事業者

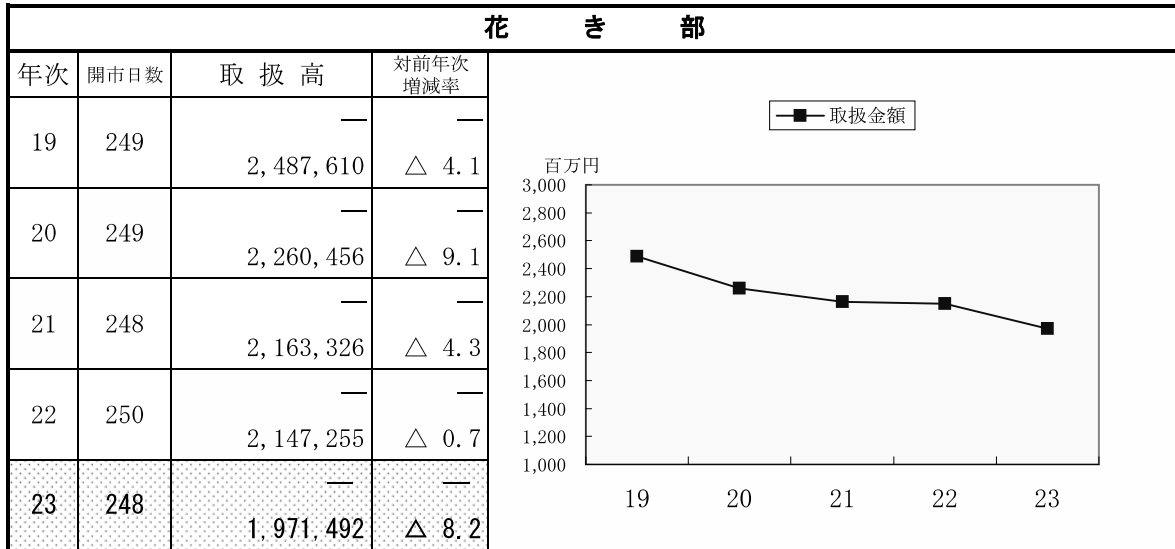
市場利用者のために運送業、(冷蔵)倉庫業、飲食店、金融業等の業務を市場内で行っています。

2 横浜市中央卸売市場の取扱高

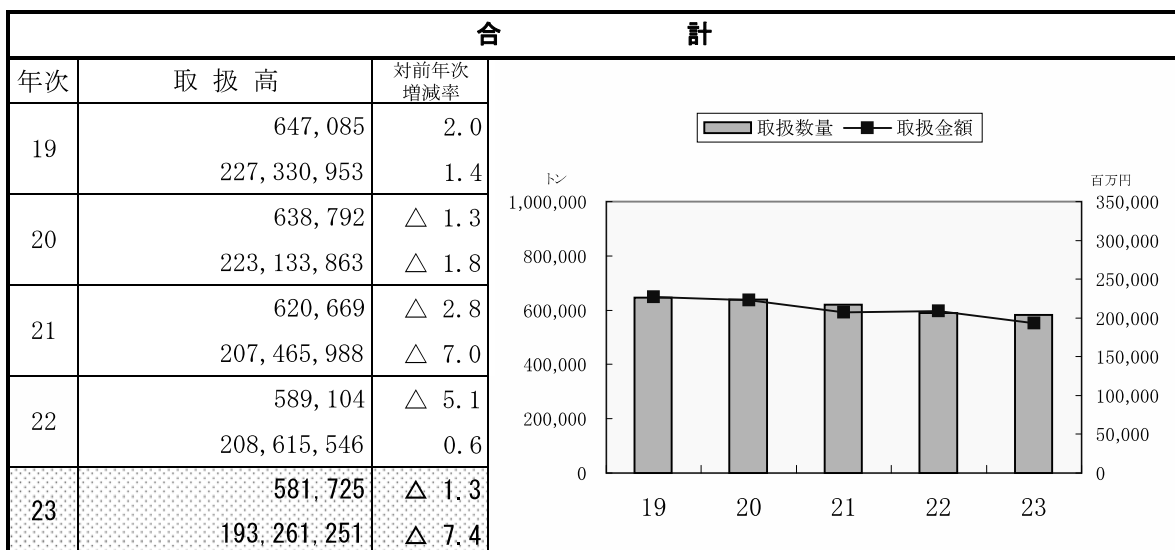
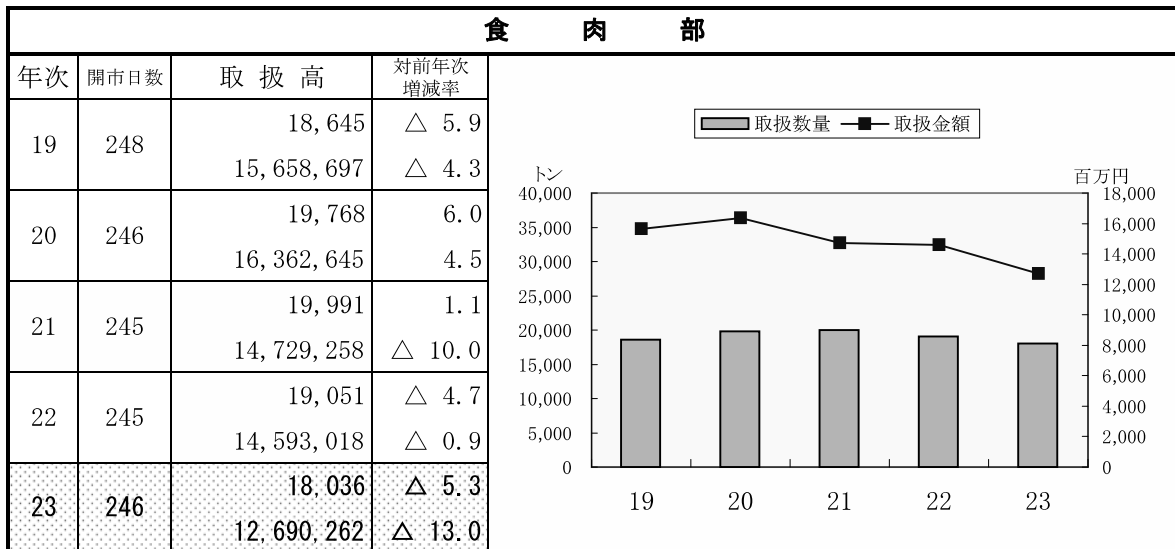
(1) 部別取扱高推移

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年次増加率＝%]





(注) 「花き部」では、切花(単位:本)、鉢物(単位:鉢)等、取扱品により数量単位が異なるため、取扱金額のみ表示しています。



(注) 取扱数量に「花き」は含んでいません。

(2) 市場別・種別取扱高

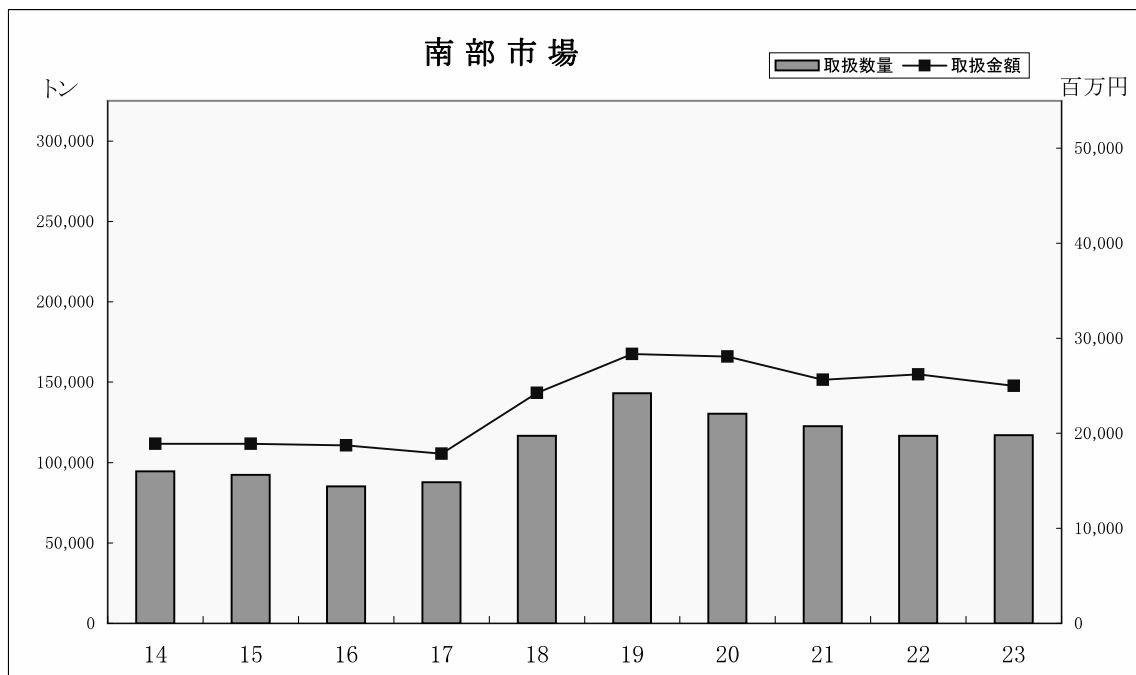
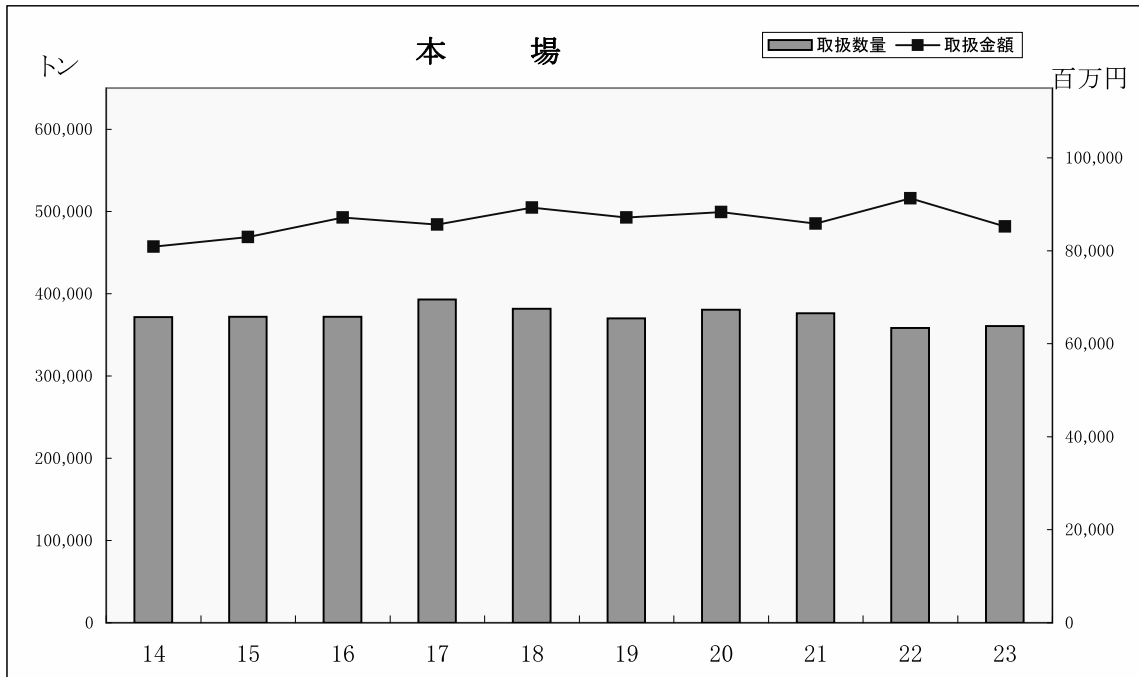
【青果部】

[単位 上段：取扱数量=トン・下段：取扱金額=千円 対前年次増減率=%]

市場	年次	野 菜		果 実		つけ物及び加工品		計	
		取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率
本 場	19	271,664	△ 2.5	87,883	△ 4.1	10,319	△ 8.5	369,866	△ 3.1
		58,711,098	△ 3.4	25,956,268	0.5	2,469,024	△ 6.8	87,136,390	△ 2.4
	20	279,719	3.0	90,436	2.9	10,192	△ 1.2	380,347	2.8
		61,439,990	4.6	24,328,582	△ 6.3	2,518,472	2.0	88,287,045	1.3
	21	277,223	△ 0.9	89,223	△ 1.3	9,612	△ 5.7	376,058	△ 1.1
		60,679,307	△ 1.2	22,733,960	△ 6.6	2,390,011	△ 5.1	85,803,278	△ 2.8
22	268,094	△ 3.3	81,213	△ 9.0	9,015	△ 6.2	358,323	△ 4.7	
	65,789,738	8.4	23,247,041	2.3	2,224,602	△ 6.9	91,261,381	6.4	
23	274,704	2.5	77,568	△ 4.5	8,429	△ 6.5	360,701	0.7	
	60,504,444	△ 8.0	22,571,068	△ 2.9	2,098,273	△ 5.7	85,173,784	△ 6.7	
南 部 市 場	19	100,702	14.6	38,642	45.7	3,735	60.2	143,079	22.6
		18,513,750	11.5	8,858,595	26.8	995,009	51.4	28,367,354	17.0
	20	89,394	△ 11.2	37,000	△ 4.2	3,865	3.5	130,259	△ 9.0
		17,584,806	△ 5.0	9,378,483	5.9	1,123,153	12.9	28,086,441	△ 1.0
	21	83,547	△ 6.5	35,240	△ 4.8	3,764	△ 2.6	122,551	△ 5.9
		16,007,815	△ 9.0	8,513,864	△ 9.2	1,116,002	△ 0.6	25,637,680	△ 8.7
22	81,408	△ 2.6	31,336	△ 11.1	3,796	0.9	116,540	△ 4.9	
	16,812,345	5.0	8,260,264	△ 3.0	1,139,188	2.1	26,211,797	2.2	
23	82,181	0.9	31,366	0.1	3,542	△ 6.7	117,089	0.5	
	15,549,159	△ 7.5	8,244,894	△ 0.2	1,181,689	3.7	24,975,743	△ 4.7	
合 計	19	372,366	1.6	126,525	7.1	14,054	3.2	512,945	2.9
		77,224,848	△ 0.2	34,814,863	6.1	3,464,033	10.3	115,503,744	1.8
	20	369,113	△ 0.9	127,436	0.7	14,057	0.0	510,606	△ 0.5
		79,024,796	2.3	33,707,065	△ 3.2	3,641,625	5.1	116,373,486	0.8
	21	360,770	△ 2.3	124,463	△ 2.3	13,376	△ 4.8	498,609	△ 2.3
		76,687,122	△ 3.0	31,247,824	△ 7.3	3,506,013	△ 3.7	111,440,958	△ 4.2
22	349,503	△ 3.1	112,549	△ 9.6	12,811	△ 4.2	474,863	△ 4.8	
	82,602,083	7.7	31,507,305	0.8	3,363,790	△ 4.1	117,473,178	5.4	
23	356,884	2.1	108,934	△ 3.2	11,971	△ 6.6	477,790	0.6	
	76,053,603	△ 7.9	30,815,961	△ 2.2	3,279,962	△ 2.5	110,149,527	△ 6.2	

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

青果部 市場別取扱高の推移 (H14~H23)



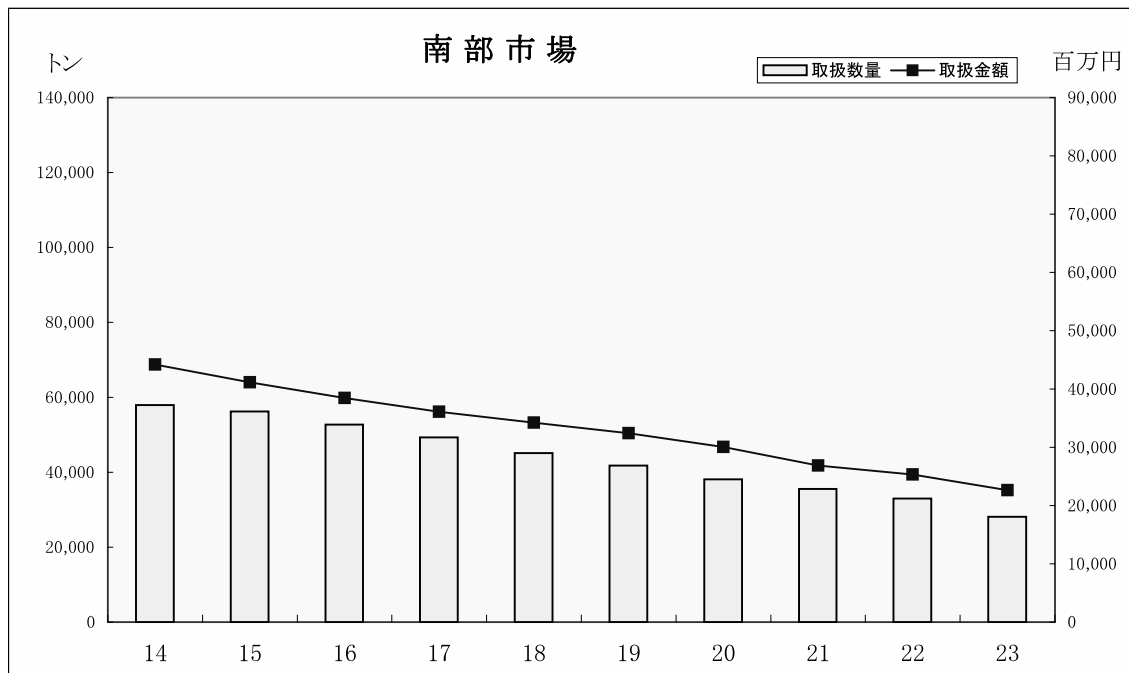
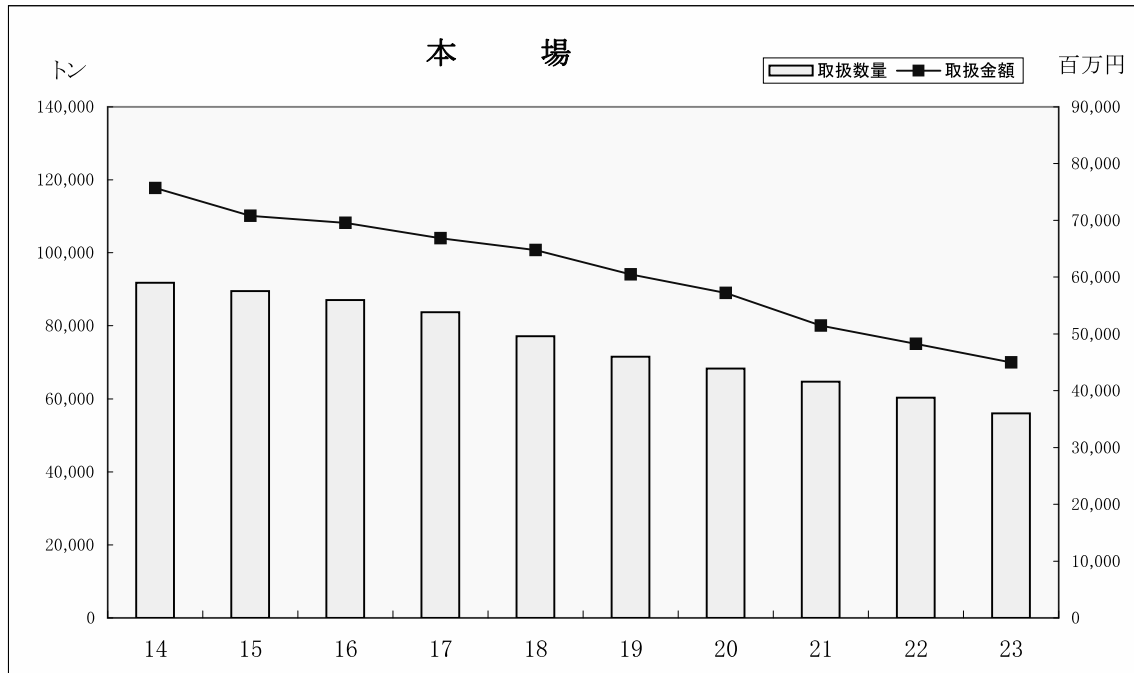
【水産物部】

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年次増減率＝％]

市場	年次	生 鮮 品		冷 凍 品		加 工 品		計	
		取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率
本 場	19	29,016	△ 4.6	18,569	△ 12.7	23,957	△ 6.0	71,542	△ 7.3
		22,878,221	△ 5.6	18,714,512	△ 7.8	18,869,261	△ 6.7	60,461,994	△ 6.6
	20	28,595	△ 1.5	17,131	△ 7.7	22,542	△ 5.9	68,269	△ 4.6
		22,736,315	△ 0.6	16,769,192	△ 10.4	17,705,464	△ 6.2	57,210,971	△ 5.4
	21	27,552	△ 3.6	16,183	△ 5.5	20,954	△ 7.0	64,689	△ 5.2
		20,511,093	△ 9.8	14,968,990	△ 10.7	15,994,092	△ 9.7	51,474,176	△ 10.0
22	25,963	△ 5.8	13,356	△ 17.5	20,961	0.0	60,279	△ 6.8	
	19,935,827	△ 2.8	13,410,550	△ 10.4	14,903,550	△ 6.8	48,249,926	△ 6.3	
23	23,583	△ 9.2	11,465	△ 14.2	20,934	△ 0.1	55,981	△ 7.1	
	18,468,466	△ 7.4	12,127,107	△ 9.6	14,348,371	△ 3.7	44,943,944	△ 6.9	
南 部 市 場	19	19,094	△ 3.2	8,015	△ 7.1	14,619	△ 12.6	41,727	△ 7.5
		13,764,401	△ 5.1	8,053,654	△ 3.0	10,553,016	△ 7.6	32,371,071	△ 5.4
	20	18,164	△ 4.9	7,089	△ 11.5	12,819	△ 12.3	38,073	△ 8.8
		13,146,019	△ 4.5	6,856,473	△ 14.9	10,024,828	△ 5.0	30,027,320	△ 7.2
	21	17,649	△ 2.8	6,026	△ 15.0	11,896	△ 7.2	35,570	△ 6.6
		12,038,856	△ 8.4	5,556,752	△ 19.0	9,263,451	△ 7.6	26,859,059	△ 10.6
22	15,928	△ 9.8	5,935	△ 1.5	11,149	△ 6.3	33,012	△ 7.2	
	11,248,367	△ 6.6	5,630,207	1.3	8,408,938	△ 9.2	25,287,512	△ 5.9	
23	13,244	△ 16.9	5,108	△ 13.9	9,769	△ 12.4	28,121	△ 14.8	
	9,963,380	△ 11.4	5,121,882	△ 9.0	7,547,286	△ 10.2	22,632,548	△ 10.5	
合 計	19	48,110	△ 4.0	26,583	△ 11.1	38,575	△ 8.6	113,269	△ 7.4
		36,642,622	△ 5.5	26,768,166	△ 6.4	29,422,278	△ 7.0	92,833,066	△ 6.2
	20	46,759	△ 2.8	24,221	△ 8.9	35,362	△ 8.3	106,342	△ 6.1
		35,882,334	△ 2.1	23,625,665	△ 11.7	27,730,291	△ 5.8	87,238,291	△ 6.0
	21	45,200	△ 3.3	22,209	△ 8.3	32,850	△ 7.1	100,259	△ 5.7
		32,549,949	△ 9.3	20,525,742	△ 13.1	25,257,543	△ 8.9	78,333,235	△ 10.2
22	41,890	△ 7.3	19,291	△ 13.1	32,110	△ 2.3	93,291	△ 6.9	
	31,184,193	△ 4.2	19,040,756	△ 7.2	23,312,488	△ 7.7	73,537,438	△ 6.1	
23	36,827	△ 12.1	16,573	△ 14.1	30,703	△ 4.4	84,103	△ 9.8	
	28,431,846	△ 8.8	17,248,989	△ 9.4	21,895,657	△ 6.1	67,576,492	△ 8.1	

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

水産物部 市場別取扱高の推移 (H14～H23)



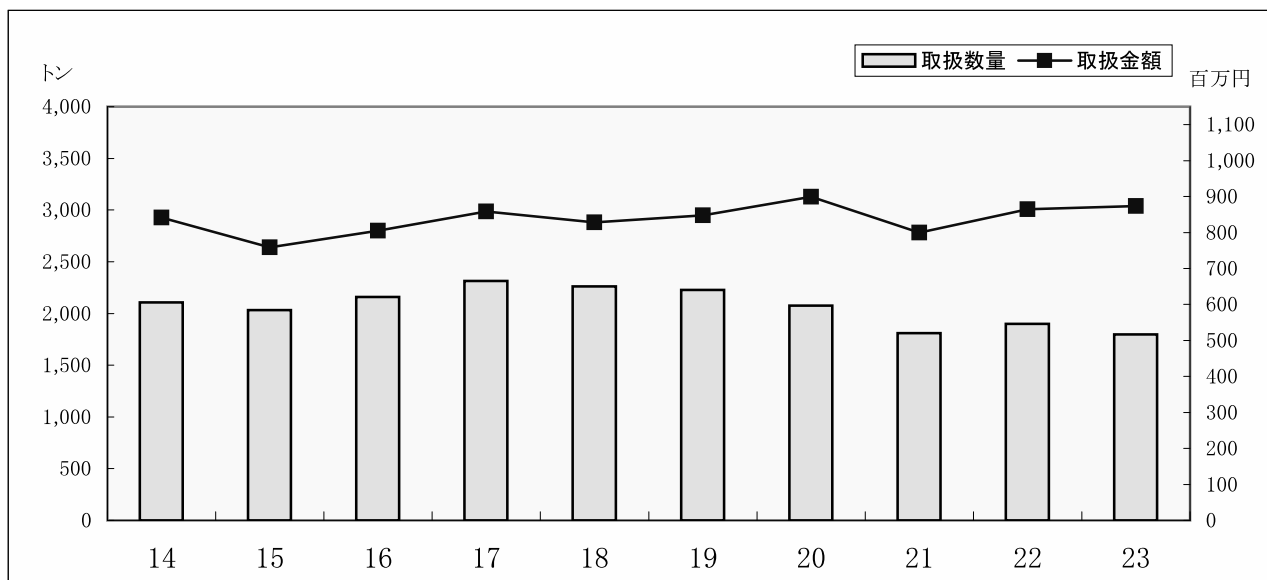
【鳥卵部】

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年次増減率＝%]

市場	年次	鳥 肉		鳥 卵		合 計	
		取 扱 高	対前年次増減率	取 扱 高	対前年次増減率	取 扱 高	対前年次増減率
本 場	19	1,508	△ 6.2	719	10.0	2,227	△ 1.5
		689,235	2.1	158,602	3.8	847,837	2.4
	20	1,362	△ 9.7	714	△ 0.6	2,076	△ 6.7
		725,185	5.2	173,800	9.6	898,985	6.0
	21	1,240	△ 9.0	570	△ 20.2	1,810	△ 12.9
		667,043	△ 8.0	132,168	△ 24.0	799,211	△ 11.1
22	1,344	8.4	555	△ 2.6	1,899	4.9	
	728,306	9.2	136,351	3.2	864,657	8.2	
23	1,264	△ 6.0	532	△ 4.0	1,796	△ 5.4	
	738,851	1.4	134,628	△ 1.3	873,479	1.0	

(注) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

鳥卵部 取扱高の推移(H14～H23)



【花き部】

[単位 上段：取扱数量＝（ ）・下段：取扱金額＝千円 対前年次増減率＝％]

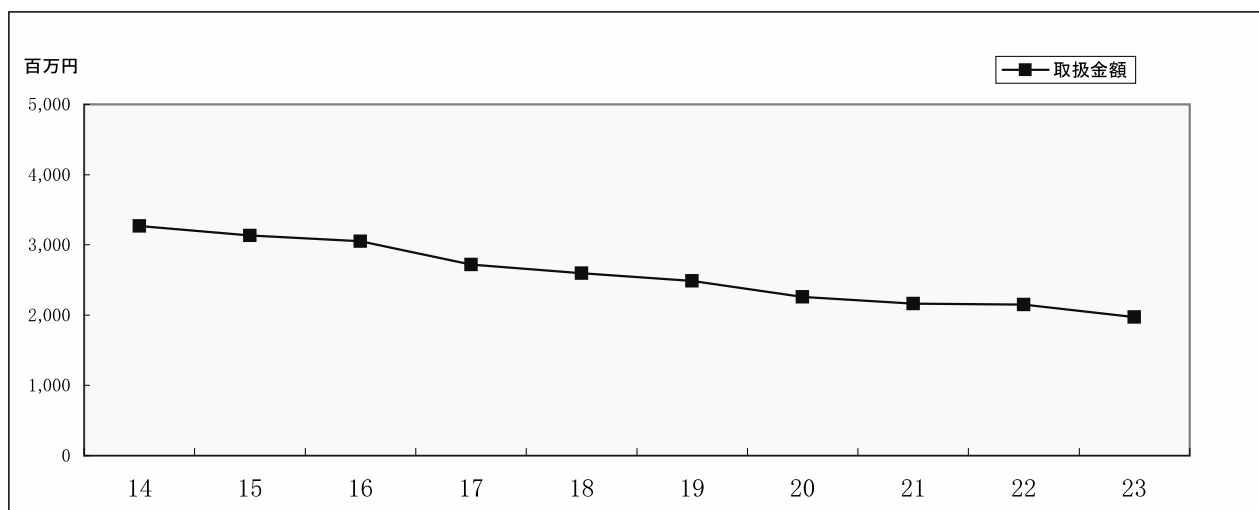
市 場	年 次	切花 (ケース)		枝物 (束)		鉢物 (鉢)		その他		合 計	
		取扱高	対前年次 増減率	取扱高	対前年次 増減率	取扱高	対前年次 増減率	取扱高	対前年次 増減率	取扱高	対前年次 増減率
南 部 市 場	19	362,012	△ 5.7	38,633	2.3	1,461,757	△ 12.8	—	—	—	—
		2,031,098	△ 3.8	196,567	0.3	245,661	△ 9.2	14,284	△ 17.6	2,487,610	△ 4.1
	20	352,564	△ 2.6	39,469	2.2	1,453,240	△ 0.6	—	—	—	—
		1,840,288	△ 9.4	186,650	△ 5.0	219,074	△ 10.8	14,445	1.1	2,260,456	△ 9.1
	21	330,220	△ 6.3	37,847	△ 4.1	1,417,715	△ 2.4	—	—	—	—
		1,783,912	△ 3.1	165,867	△ 11.1	198,197	△ 9.5	15,350	6.3	2,163,326	△ 4.3
22	308,848	△ 6.5	34,720	△ 8.3	1,308,790	△ 7.7	—	—	—	—	
	1,773,301	△ 0.6	165,041	△ 0.5	191,695	△ 3.3	17,218	12.2	2,147,255	△ 0.7	
23	291,772	△ 5.5	31,945	△ 8.0	1,242,856	△ 5.0	—	—	—	—	
	1,629,723	△ 8.1	155,480	△ 5.8	169,040	△ 11.8	17,248	0.2	1,971,492	△ 8.2	

(注1) 1ケース=100本、1束=10把=100本

(注2) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

(注3) その他は、野菜苗、球根、門松セットなどです。

花き部 取扱高の推移(H14~H23)



【食肉部】

[単位 上段：取扱頭数、()と畜頭数=頭・中段：取扱重量=トン・下段：取扱金額=千円 増減率=%]

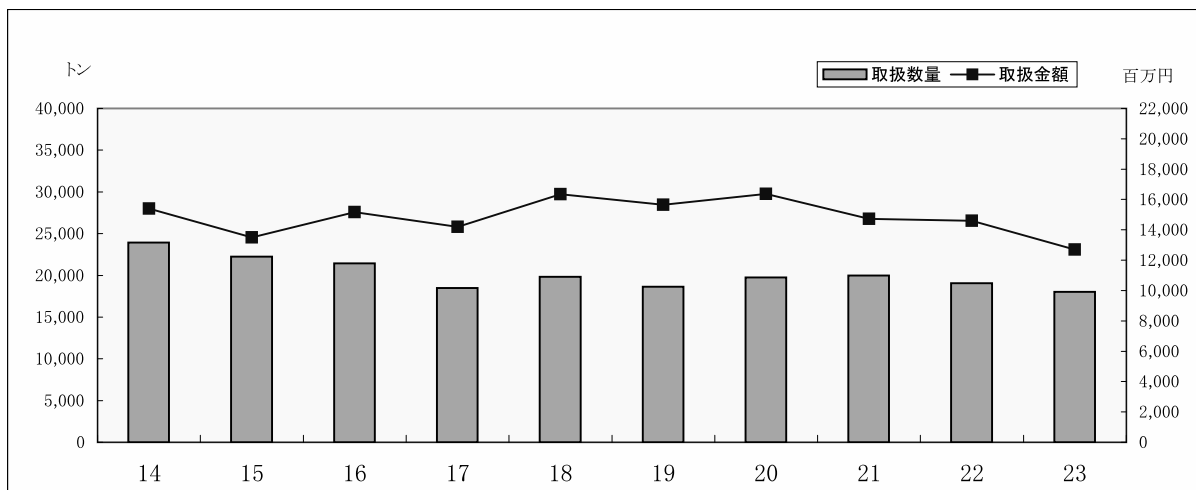
市場	年次	牛		豚		その他		合計	
		取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率	取扱高	対前年次増減率
食肉市場	19	16,371	5.0	144,687	△ 13.4	0	0.0	161,058	△ 11.8
		(15,988)	(5.2)	(133,338)	(△ 12.7)	(0)	(0.0)	(149,326)	(△ 11.1)
		7,286	7.6	11,274	△ 13.0	84	6.3	18,645	△ 5.9
		10,087,072	△ 2.0	5,126,801	△ 9.7	444,824	16.1	15,658,697	△ 4.3
	20	20,434	24.8	138,050	△ 4.6	0	0.0	158,484	△ 1.6
		(15,989)	(0.0)	(123,905)	(△ 7.1)	(0)	(0.0)	(139,894)	(△ 6.3)
		8,965	23.0	10,792	△ 4.3	11	△ 87.0	19,768	6.0
		10,672,264	5.8	5,232,073	2.1	458,309	3.0	16,362,645	4.5
	21	20,394	△ 0.2	141,953	2.8	0	0.0	162,347	2.4
		(17,860)	(11.7)	(133,129)	(7.4)	(0)	(0.0)	(150,989)	(7.9)
		9,061	1.1	10,931	1.3	0	△ 100.0	19,991	1.1
		9,937,528	△ 6.9	4,297,791	△ 17.9	493,940	7.8	14,729,258	△ 10.0
22	18,523	△ 9.2	138,426	△ 2.5	0	0.0	156,949	△ 3.3	
	(17,204)	(△ 3.7)	(130,868)	(△ 1.7)	(0)	(0.0)	(148,072)	(△ 1.9)	
	8,312	△ 8.3	10,739	△ 1.8	0	0.0	19,051	△ 4.7	
	9,662,342	△ 2.8	4,457,365	3.7	473,311	△ 4.2	14,593,018	△ 0.9	
23	17,205	△ 7.1	137,739	△ 0.5	99	—	155,043	△ 1.2	
	(14,934)	(△ 13.2)	(133,938)	(2.3)	(99)	—	(148,971)	(0.6)	
	7,356	△ 11.5	10,663	△ 0.7	16	—	18,036	△ 5.3	
	7,672,958	△ 20.6	4,639,302	4.1	378,001	△ 20.1	12,690,262	△ 13.0	

注1) 単位未満は四捨五入したため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合があります。

注2) 増加率は、単位未満を四捨五入する前の数値で計算した。

注3) その他は、輸入牛肉・子牛・部分肉・副生物など。

食肉部 取扱高の推移(H14～H23)



(3) 全国主要都市との比較

平成23年次における全国主要都市の取扱金額を比較しますと、青果（表1）は全国で東京都、大阪市、名古屋市に次いで第4位となっています。

また、水産物（表2）は第6位、花き（表3）は第6位、食肉（表4）は第5位となっています。

(表1)

青果部		
順位	都市名	取扱金額（千円）
1	東京都	505,769,482
2	大阪市	171,032,841
3	名古屋市	127,286,065
4	横浜市	110,149,527
5	京都市	69,296,210
6	札幌市	58,966,961
7	福岡市	56,884,584
8	広島市	46,899,873
9	仙台市	45,160,149
10	神戸市	37,400,870

(表2)

水産物部		
順位	都市名	取扱金額（千円）
1	東京都	452,038,987
2	大阪市	166,717,149
3	名古屋市	127,888,431
4	札幌市	93,212,858
5	仙台市	69,779,838
6	横浜市	67,576,492
7	神戸市	62,998,044
8	福岡市	47,941,531
9	京都市	43,216,236
10	広島市	31,341,738

(表3)

花き部		
順位	都市名	取扱金額（千円）
1	東京都	83,088,535
2	仙台市	8,636,552
3	広島市	6,427,245
4	神戸市	3,221,553
5	川崎市	2,870,817
6	横浜市	1,971,492

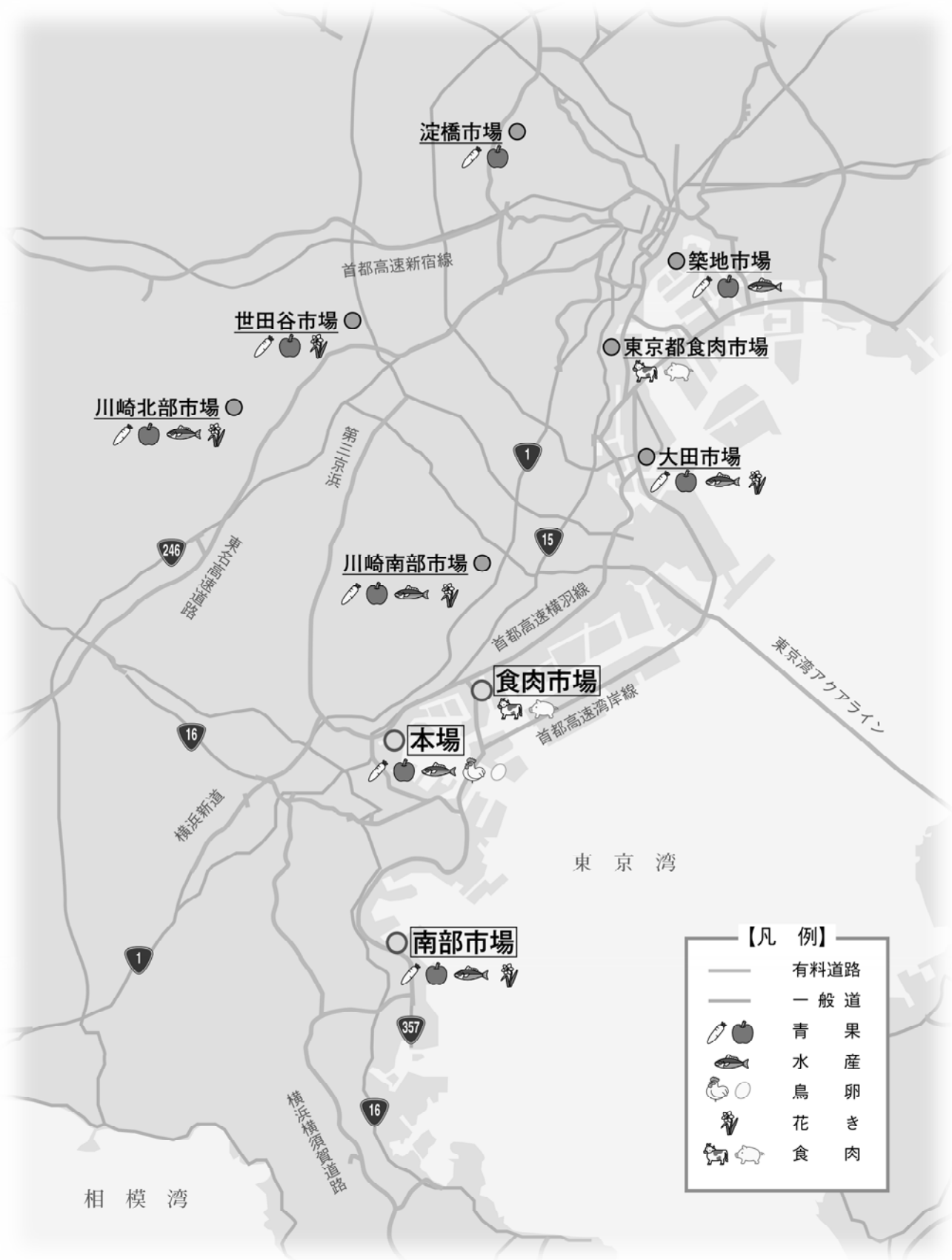
(表4)

食肉部		
順位	都市名	取扱金額（千円）
1	東京都	87,629,630
2	大阪市	24,343,703
3	名古屋市	17,257,708
4	福岡市	15,280,884
5	横浜市	12,690,262
6	神戸市	12,274,225
7	仙台市	11,749,816
8	さいたま市	8,046,293
9	京都市	7,829,543
10	広島市	5,770,781

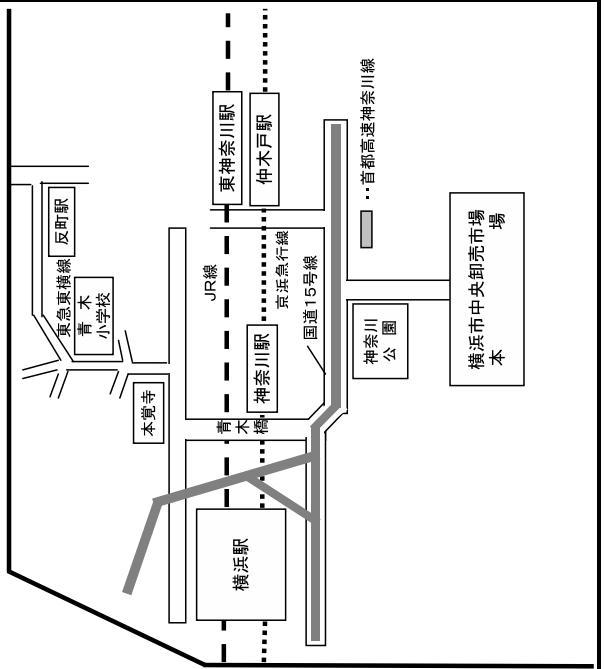
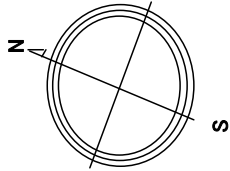
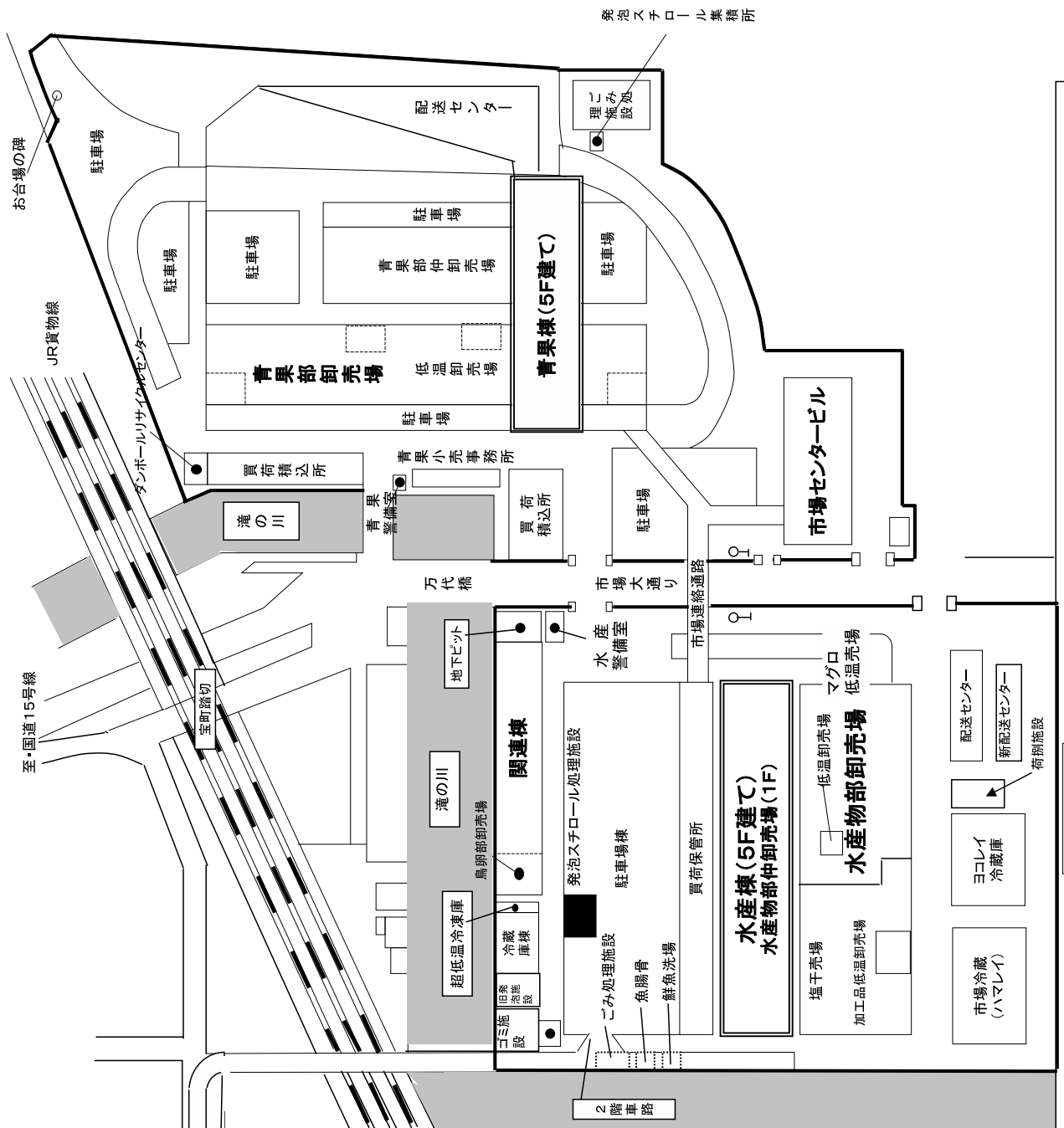
【参考】 全国の中央卸売市場数
(平成24年4月1日現在)

		市場数
中央卸売市場		72 (44都市)
うち	青果	57 (42都市)
	水産物	43 (37都市)
	花き	19 (15都市)
	食肉	10 (10都市)

3 横浜市中央卸売市場の位置・平面図



○ 本場平面図



横浜市中央卸売市場の再編・機能強化について

1 経緯

(1) 包括外部監査意見

平成 18 年 3 月、包括外部監査において、市場の取扱量の減少や市場事業者の経営悪化等を踏まえて、今後の市場のあり方(2 市場体制を維持するか否か等)の検討を求める意見が出されました。

(2) 横浜市中央卸売市場開設運営協議会答申

包括外部監査の意見を受けて、平成 18～19 年度に横浜市中央卸売市場開設運営協議会で今後のあり方が検討され、平成 20 年 3 月、次のような答申が出されました。

①中央卸売市場を引続き開設・運営すること

②市場機能の強化を図ること

③市場規模の適正化（本場・南部市場の統合）を図ること

ア 統合時期

南部市場の施設が更新時期を迎える概ね 10 年後を目標

イ 統合場所

①「本場への統合（南部市場用地の物流センター等での活用も検討）」

②「南部市場への統合」

③本場・南部市場以外の候補地への「移転新設」

(3) 新市場整備協議会における検討

横浜市中央卸売市場開設運営協議会の答申を踏まえ、平成 20 年度以降、市場関係団体の代表者と横浜市で構成する「新市場整備協議会」を設置し、統合場所や時期等について、7 回にわたって検討を重ねてきました。

それ結果を踏まえて、平成 22 年 7 月、次のように横浜市中央卸売市場の再編・機能強化の基本方針を決定しました。

2 横浜市中心卸売市場の再編・機能強化に関する基本方針

(1) 基本的考え方

ア 商圏や立地条件などを考慮して、本場を中央卸売市場として、横浜市が引続き開設・運営する。

イ 南部市場は、中央卸売市場としては廃止するが、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用する。

	本 場	南 部
青果部 水産物部	中央卸売市場 外気遮断・温度管理型売場、 加工場等の整備実施 (本場に花き部はなし)	本場を補完する加工・配送、流通の場(原則民間による外気遮断・温度管理型施設への改修・整備)
鳥卵部		—
花き部		商圏(市内南部及び三浦半島地区) 特性を踏まえた、民営の花き流通センターまたは民営地方卸売市場
関連事業		青果、水産物、花き部門の支援的な役割とともに、消費者等にかかれた業態化

(2) 目標時期

商圏が競合する東京市場の機能強化の動向(大田市場青果部の大型低温物流センター整備：平成23年度稼働予定、築地市場の豊洲新市場移転：平成26年度予定)を踏まえて概ね5年以内(平成26年度まで)を目標とする。

(3) 今後の取組

今後は、引続き市場関係事業者と協議しながら、南部活用方法の具体化や、本場・南部間移動の条件調整と実施、施設整備、出荷者や販売先顧客の協力確保、法令の手続き等を行っていく。

3 市場関係事業者との協議経過

■本 場

(1) 施設整備に係る検討会の設置・開催

平成23年5月に、水産物部の卸売会社や仲卸組合とそれぞれ検討会を設置し、平成24年3月までに合同検討会を含め合計17回にわたって、卸売場等を温度管理可能な閉鎖型低温卸売場等へ転換を図るための施設整備に関する協議を行いました。

(2) 全体説明会の実施

平成24年3月に、水産物部の施設整備に関する全体説明会を、本場水産物部仲卸業者を対象に実施しました。

(3) 関連事業・水産物部小売商団体との協議

平成23年12月から平成24年5月にかけて、水産物部の売場等を利用する関連事業者や小売商団体と、合計5回にわたって協議を行いました。

■南部市場

(1) 卸・仲卸業者からのヒアリング実施

平成23年1月から9月にかけて、南部市場内卸・仲卸業者を対象とした個別ヒアリング、意見交換会などを青果部、水産物部、花き部、関連事業等、部門別に実施しました。

(2) 土地利用検討会の開催

個別ヒアリングを受け、平成23年11月からは部門ごとの意見集約と全体での意見交換を目的に、各部門代表者による「南部市場土地利用検討会」を開始し、本年4月までに4回開催しています。

(3) 「横浜市中心卸売市場南部市場自治会」からの要望書の提出

平成24年4月18日、第4回土地利用検討会の場で、南部市場関係事業者全員で組織する南部市場自治会から場内事業者の総意として「南部市場の土地利用にあたっての要望書」が提出されました。

< 要望の主な内容 >

- ①これまで通りの場所での営業の継続
- ②一般消費者への販売が可能となる規制の緩和
- ③横浜市による土地・施設の維持、管理費用の負担
- ④土地・施設の継続利用及び賃料の軽減 等

4 今後の取組

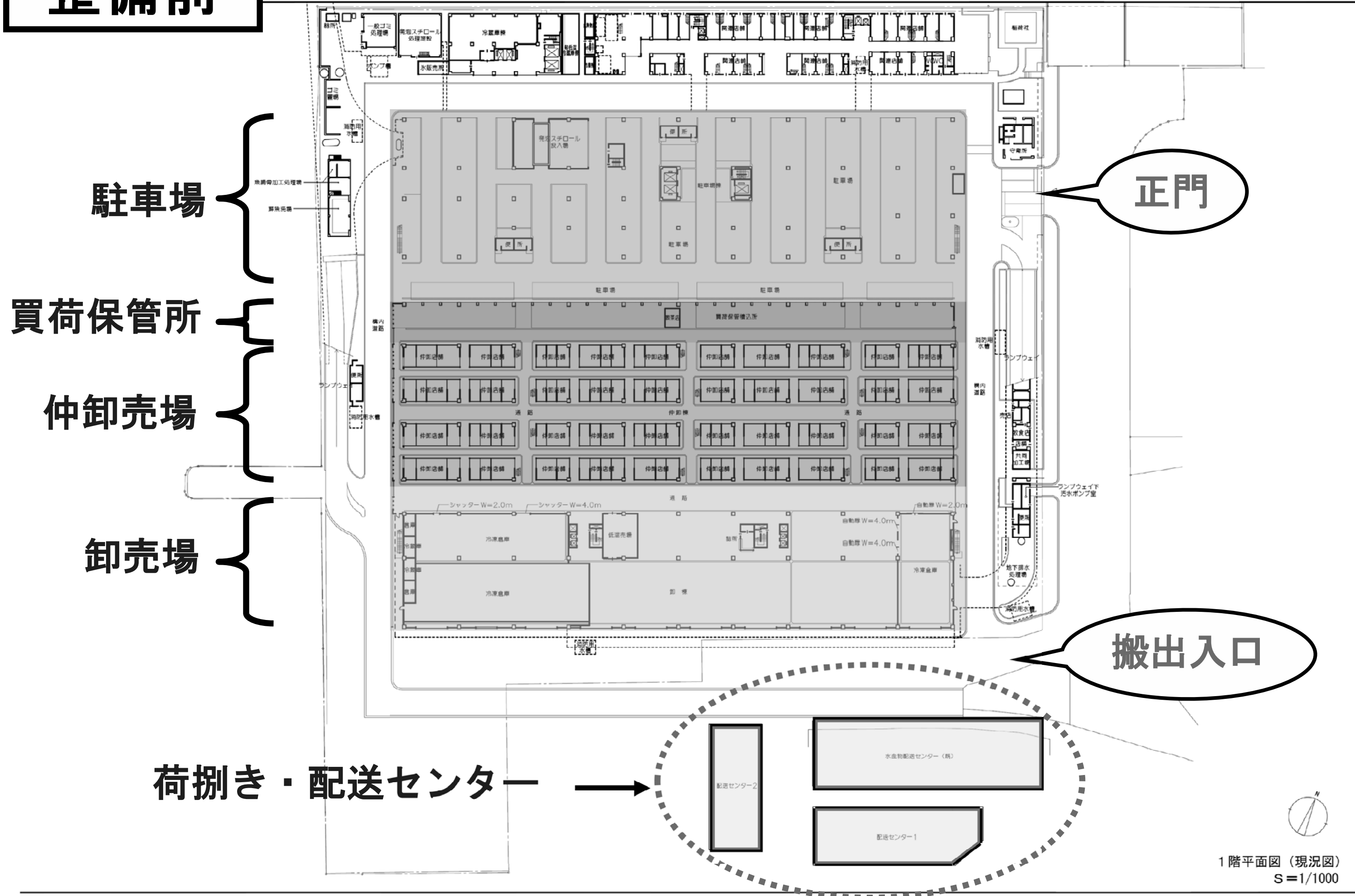
- (1) 本場においては、引き続き市場関係事業者と協議を行いながら、施設整備に関する設計・工事を進めます。
- (2) 南部市場においては、引き続き市場関係事業者との協議を続けます。
 また、南部市場跡地の利用にあたっては、中央卸売市場を廃止した場合に生ずる土地利用等に関する様々な法令上の用途規制があるため、市場関係事業者からいただくご意見・ご要望と、法令の規制との整合をとりながら、今年度中に土地利用計画をまとめます。
- (3) 市場の再編・機能強化に伴う支援策等について、早期に検討していきます。
- (4) 今後は、法令の手続きや条例改正を行いながら、平成26年度末を目途に再編・機能強化事業を進めます。

■スケジュール

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
本場水産物部 施設整備	←→ 基本・実施設計	←→ 工	←→ 事
南部市場 土地利用	←→ 計画作成	←→ 中央卸売市場としての廃止の準備	←→

整備前

本場水産物部の施設整備



整備後

本場水産物部の施設整備

断熱効果のある壁・天井を設置し、空調機器等を整備

搬出

温度管理型の荷捌き・配送センター

仲卸売場

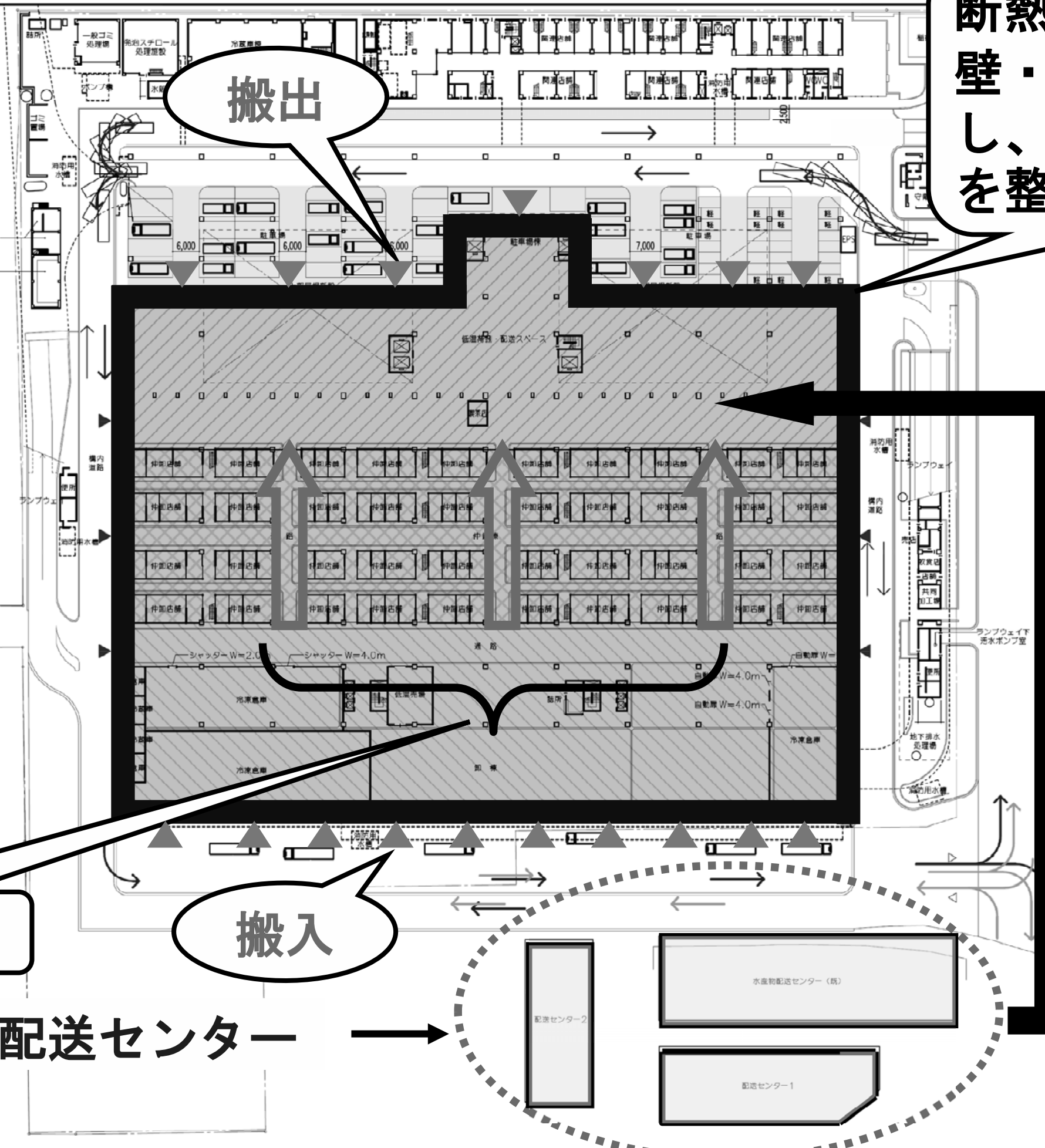
卸売場

荷捌き配送機能の移転

搬送動線の拡幅

搬入

現 荷捌き・配送センター



- : 新設壁
- : 低温化範囲
- ▨ : 荷捌・配送スペース (約5900㎡)
- ▩ : 仲卸売場 (約6400㎡)
- ▨ : 卸売場 (約6900㎡)
- : 配送車両積込スペース
- ▲ : 低温化エリア出入口
- ▲ : 扉
- ← : 配送車両進行方向
- ← : 搬入車両進行方向

